



# 学校だより

(12月号) 平成30年11月30日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

## 【学校の教育目標】

◎ 夢(ゆめ)にむかって ともに学びあう学校

- ・進んで勉強する子
- ・自分からあいさつのできる子
- ・仲よくたすけあう子
- ・じょうぶな子

《今月の生活目標》手洗い、うがいをしっかりしよう

## 『振り返る』

校長 河井 尚

早いもので、もう「師走(12月)」。今年のカレンダーもいよいよ最後の1枚となりました。平成最後の師走です。一年の最後の月である師走は、年が変わる大きな「節目」であり、この1年を振り返り、無事に過ぎたことに感謝し、新たな年を迎える準備をする時です。

考えてみると、この「振り返る」という行為は我々人類にしかできないことではないでしょうか。人間だけがこれまでの自分の生きてきた道を振り返り、それを先に繋げていくことができます。過去と現在、未来を繋げて考えることができます。ただし振り返ると言っても後ろ向きに考えて、もはや変えられない過去のことで悩んでも仕方ありません。過去は変えられないけれど過去の経験を元に未来なら変えられるのです。

かつて、現役を引退する際の会見で、次のように現役時代を振り返ったプロ野球選手がいました。私が最も敬愛するスポーツ選手です。

**「『あしたはきっとよいことがある』。その日、ベストを出しきって駄目だったとしても、僕はそう信じ、ただ夢中でバットを振ってきました。悔いはありません」**

2学期には運動会をはじめとした、持久走記録会、各学年の社会科見学などの学校・学年行事がありました。そうした行事での取組だけでなく、日々の学校生活の中で、時には大きく、時には一歩ずつ成長するしびらきっ子の姿をたくさん見ることができました。

学校では、すべての教育活動に「めあて」をもって取り組んでいます。その達成のために準備をし、実践、振り返りを行い、次のステップへ繋がります。



先のプロ野球選手は、毎試合後に振り返りを行い、帰宅後にバットを振り続けました。思うような結果が出なかった日には、相手投手を想定して自分が納得するまでバットを振り続けたといいます。時には明け方まで続けたそうです。「あしたはきっとよいことがある」と信じるだけではなかったのです。自分によりよいことが起こるように、他の人が見ていないところで黙々とバットを振っていたのです。

年末のこの時期は一年間を振り返る絶好のチャンスです。自分の1年間を冷静に振り返って新年を迎えられるようにしてほしいものです。そして新年には、自分の目標を立て、達成に向けての取組をいつ、どんなふうにやるかを考えてみてください。

今年1年ひとかたならぬお世話になりました。よいお年をお迎えください。

最後に、先ほどのプロ野球選手の言葉をもうひとつ。

**日々新たな気持ちで挑戦して行く。**

**これこそ生きる上での一番の王道と言えるのではないのでしょうか。 - 長嶋茂雄 -**

